

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS EX
ビジネス用プリンター

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

大垣市立西部中学校 様

2014年9月に導入したORPHIS EX7200の感想や印刷用途を奥田教頭先生と高木教頭先生に伺いました。

印刷物の後処理加工時間が大幅に短縮！

孔版印刷機で印刷した大量の会議資料や冊子は、印刷室のスペースの関係上、その場で後処理加工（丁合・折り・ステープル留め）ができず、先生方が別室に運んで人海戦術で行っていました。別室への移動・先生方への作業依頼・後処理加工の手作業に手間と不便とストレスを感じていましたが、ORPHISは「印刷から後処理加工まで」ボタン一つ全自動で行う為、印刷物の後処理加工時間が大幅に短縮され、驚きと共にもう手放すことが出来ない印刷機となりました。

印刷の幅が広がった！

岐阜県が発刊している「岐阜県教育ビジョン」は配付される冊数が限られている為、追加部数をORPHISで自校印刷しています。従来はカラーレーザープリンターで印刷をしていましたが、約100ページのカラー冊子である為、印刷物が熱でカールしてしまい読みづらく、且つ、時間・コストがかかっていましたが、ORPHISであれば小ロットでも短時間で印刷でき、何よりカラー単価が安い為、以前よりも手軽に刷り増しができると大好評です。今では学校の印刷だけでなくPTAにおけるインターネット使用状況実態調査の冊子や、PTA新聞をORPHISでカラー印刷しています。

充実した機能

機能が充実しているのも嬉しいですね。校内には10段の丁合機が1台ありますが、10ページ以上の冊子・資料が結構ある為、結局、手作業にて組み合わせ作業が必要でした。しかし、ORPHISはページ制限が勿論無い為、大変助かっています。丁合ミスなし！紙揃えよし！そして、ステープルまでやってくれる、ただただ脱帽です。

また、各先生方が作成した資料を一つの資料にまとめて印刷する事があつて、ページ数が入っていない紙原稿を印刷する際にページ番号を自動でつけて印刷する機能＝ページ印字機能も重宝させてもらっています。

ORPHIS vs 孔版印刷機

全校生徒は3学年で760人、1学年約250名の生徒数である為、学年分の印刷は教科や用途に分け「ORPHIS or 孔版印刷機」で印刷しています。謄写版印刷から続くモノクロの孔版印刷機もまだまだ手放すことは出来ませんね。



カラー印刷なのでグラフも見やすく、伝えたい事を強調できて助かります！

営業担当者の声

両面印刷や丁合作業と言った印刷作業時間に対する解決が課題だと伺っていましたが、ORPHIS導入により印刷作業時間の解決のみならず、印刷経費の削減に貢献できた事嬉しく思います。今後も毎月の使用状況を分析し、JB独自のコストシミュレーションによる経費削減とカラー印刷による教育効果を提案して参ります。



営業担当：橋本 浩明

ORPHIS EX 7200…スピード:毎分120枚、オルフィスシリーズのシンプルモデル。詳しくはジムブレンまでお尋ねください。

岐阜県内のJB導入事例はHPにて公開しています。閲覧/パスワード jb5566jb1564